

## 神戸大学校友会ニュースレター

いつも校友会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

### — インフォメーション —

#### 【1】トピックス

- (1) 神戸大学校友会石川県支部（石川県校友会）からのご報告
- (2) 新たな産官学イノベーション施設（バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点棟）が竣工
- (3) 百年記念館に新たな交流の場がオープン
- (4) 神戸大学統合報告書 2024 を掲載

#### 【2】お知らせ

- (1) 経済学研究科主催の国際カンファレンス “The 9th Annual International Conference on Applied Economics in Hawaii” がハワイで開催
- (2) 京阪神の3大学シンポジウムを開催 ～人口減社会への挑戦をテーマに
- (3) 「神戸大学の安全及び労働衛生に係わる表彰」が行われました
- (4) トウンク・アブドゥル・ラーマン大学（マレーシア）から訪問
- (5) バンドン工科大学（インドネシア）から訪問
- (6) 第4回先端バイオ工学研究センター成果発表会  
～若手が創る次世代の先端バイオ工学～を開催
- (7) 神戸大学×関西電力 SDGs 連続講座 2024 第1回講義を開催
- (8) 令和6年度優秀若手研究者賞授賞式及び研究発表会を行いました
- (9) アリに学んで赤ちゃんに習う 神戸大学発ベンチャー  
再現香料のセンツフェス株式会社を認定
- (10) 神戸大学大学院医学研究科メドテックイノベーションセンターの竣工式・開  
所記念式典を行いました
- (11) 「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム (D-Global)」に採択
- (12) 令和6年度学長表彰式を行いました
- (13) 農学研究科附属食資源教育研究センターで令和6年度収穫祭を開催
- (14) 厦門理工学院（中国）から訪問
- (15) 都市安全研究センターのオープンゼミナール 震災30年特集

### 【3】研究ニュース

- (1) 自然訪問の頻度格差と関わる日常生活環境や自然体験  
ー年齢階層別の解析と都市環境整備への示唆ー
- (2) 神戸大学・神戸市・光オンデマンドケミカル(株)による地域連携の成果  
バイオガスから医農薬原料やポリマーの合成に成功！
- (3) 世界初！国産手術支援ロボット「hinotori」を用いた小児手術に成功
- (4) 新型コロナウイルス感染症の病原性発症機序を解明  
ーウイルスプロテアーゼによる宿主抗ウイルス自然免疫応答からの回避機構ー
- (5) 医師主導治験により、「リツキサン®」が難治性のステロイド抵抗性ネフローゼ症候群に対する薬事承認を取得
- (6) 脳梗塞患者において過体重～軽度肥満だと退院時の機能障害が発生しにくいことを明らかに
- (7) 神戸大学と洋服の青山、スーツ着用時の動きやすさを数値化する共同研究により「肩くるしくないスーツ」が誕生
- (8) 流体が乱れる・乱れないの新たな境目を発見

### 【4】フィーチャー

- (1) 日本語教育の未来を見据えて一文部科学省事業の近畿ブロック拠点校として
- (2) 廃棄物から薬を生み出す「光ものづくり」
- (3) ボランティアが示す「集の力」ー震災 30 年シリーズ①【社会教育学】
- (4) 被災者の人権を守る災害法制をー震災 30 年シリーズ②【災害法制】
- (5) 大震災、JR 福知山線事故の医療から学んだことー震災 30 年シリーズ③【災害医療】

### 【5】イベント等情報

- (1) 第 6 回シンダイシンポ  
神戸大と産・官・民の共創～卓越基礎研究と社会実装で地域と世界を先導～
- (2) 震災 30 年 工学部一年生が見た阪神・淡路大震災
- (3) 震災 30 年 写真パネル展「あの日、壊れた街」
- (4) その他のイベント情報

## 【1】トピックス

### (1) 神戸大学校友会石川県支部（石川県校友会）からのご報告

とき 令和6年10月17日(木曜日) 午後6時半から

ところ ANA ホリデイイン・金沢スカイ

2016年に、全学部横断の組織として「神戸大学石川県学友会」を立ち上げ、その後2019年まで毎年総会と懇親会を開催していましたが、コロナの影響で2020年以降開催を見送っており、今回5年ぶりの開催となりました。同窓生が多く在籍する石川県庁、北國銀行、北陸銀行、北陸電力、EIZOの幹事を通じて出席を促すとともに、過去の同窓会出席者全員にメール等で連絡をとりましたが、5年の間に連絡が取れなくなっている方も多く、また、石川県庁在籍の方は、能登半島地震及び能登の豪雨災害対応等で1名しか参加できなかったこともあり、今回は19名の参加にとどまりました。

最初に総会を開き、実盛祥隆会長のあいさつに続き、前回総会からの収支報告が行われました。その後、長沖与一顧問、向山典佐副会長(向山税理士事務所)の退任、田井徳太郎氏(田井屋)、柴田未来氏(しばた未来法律事務所)の副会長就任について、出席者全員の承認が得られました。

総会後の懇親会は田井徳太郎新副会長の乾杯の挨拶で始まり、一人1分半のルールでの自己紹介、恒例のビンゴゲームが行われました。最後に柴田未来新副会長が「来年からは毎年総会・懇親会を開催します」と宣言して終了しました。

久しぶりの開催という不安があったものの、やってみると楽しい時間となり、出身校のOB会の存在意義を再認識しました。

出席者 19名

経済：4名、経営：6名、法：3名、文：1名、工：4名、医：1名

(向山典佐)



## (2) 新たな産官学イノベーション施設（バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点棟）が竣工

神戸大学の新たなイノベーション施設であるバイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点棟（BMO棟）が竣工しました。

このBMO棟は、神戸大学における先端研究とスタートアップの活性化とオープンイノベーションの促進を目的としており、経済産業省「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備事業」による補助金と株式会社ダイセルからのご寄付による支援をいただき建設したものです。



○詳細は、こちらをご覧ください。

（ [http://www.innov.kobe-u.ac.jp/sangaku/downloads/news/20241004\\_pressrelease\\_BMO](http://www.innov.kobe-u.ac.jp/sangaku/downloads/news/20241004_pressrelease_BMO) ）

## (3) 百年記念館に新たな交流の場がオープン

神戸大学では、学生や教職員がくつろげる憩いの場を提供するため、昨年の楠キャンパス内の Medical C3 Commons（福利厚生施設）の開業に続き、神戸の市街地を一望にできる神戸大学百年記念館内に、スターバックスが2024年10月1日にオープンしました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241009-66121/> )

#### (4) 神戸大学統合報告書 2024 を掲載

神戸大学は 2019 年度から、ステークホルダーの皆様に対して、神戸大学ビジョンの方向性をもとに、短期はもとより、中長期的な戦略を立て、どのようにして社会にとって価値ある大学となろうとしているかを、神戸大学のステークホルダーの皆様にお伝えするために、「統合報告書」を作成し公表しております。

このたび、2024 年度版を作成しましたので、是非ともご覧ください。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241003-66098/> )

## 【2】お知らせ

### (1) 経済学研究科主催の国際カンファレンス “The 9th Annual International Conference on Applied Economics in Hawaii” がハワイで開催

今回で9回目になる、International Conference on Applied Economics in Hawaii は、大成功に終わりました。このカンファレンスは、神戸大学を世界トップクラスの研究大学へと押し上げるべく、神戸大学大学院経済学研究科が主要イベントのひとつとして毎年開催しているものです。今年は、神戸大学大学院経済学研究科の衣笠智子教授企画の下、研究科の教員をはじめ、ハワイ大学マノア校（アメリカ合衆国）、国立台湾大学（台湾）、南洋理工大学（シンガポ

ール）から研究者を集め、密度の濃い研究会を行うことができました。新型コロナウイルス流行のため、2021、2022 年にはオンライン、2023 年度には、神戸大学でハイブリッドで開催しましたが、コロナ禍後初めて、ハワイで開催することができました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.econ.kobe-u.ac.jp/news/14390/> )

## (2) 京阪神の3大学シンポジウムを開催 ～人口減社会への挑戦をテーマに

神戸大学など京阪神の3国立大学（京都、大阪、神戸）の総長・学長が経済界と討論する「3大学シンポジウム」（日本経済新聞社、日本経済研究センター主催）が9月27日、大阪市内で開かれました。テーマは「人口減社会に挑む～産学共創がひらく未来」。神戸大学の藤澤正人学長、京都大学の湊長博総長、大阪大学の西尾章治郎総長、化学メーカー・ダイセル（大阪市）の小河義美社長、働く母親を総合的に支援するマザーネット（大阪市）の上田理恵子社長が、人口減社会における産学の役割や連携などについて議論しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241004-66110/> )

(3) 「神戸大学の安全及び労働衛生に係わる表彰」が行われました

10月3日、全国労働衛生週間（10月1日～10月7日）のイベントとして、神戸大学大学院海事科学研究科が本年度「神戸大学の安全及び労働衛生に係わる表彰」の被表彰団体として選定され、平山勝敏大学院海事科学研究科長が代表者として藤澤正人学長より表彰状を授与されました。

表彰の対象となったのは、海事科学研究科の局所排気装置の定期点検に関する取り組みです。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241007-66111/> )

(4) トUNK・アブドゥル・ラーマン大学（マレーシア）から訪問

10月2日、マレーシアのトUNK・アブドゥル・ラーマン大学より Ewe Hong Tat（ユウ・ハウ・タツ）学長が、藤澤正人学長を訪問しました。

懇談には、トUNK・アブドゥル・ラーマン大学より、Lai Soon Onn（ライ・ジュン・アン）国際部部長と、マレーシア元留日学生協会の Gary Tang（ゲイリー・タン）会長、神戸大学より中澤港大学院保健学研究科教授・国際連携推進機構アジア・オセアニア部門長、花田エバ国際連携推進機構准教授が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241008-66114/> )

#### (5) バンドン工科大学（インドネシア）から訪問

10月3日、インドネシアのバンドン工科大学より Yuli Setyo Indartono（ユーリ・セトヨ・インダルトノ）研究・コミュニティサービス部長が、玉置久理事・国際連携推進機構長を訪問しました。

懇談では、Indartono 部長よりバンドン工科大学の強みとする研究紹介や、国別の共同研究において日本との連携が最も多いこと等に触れ、神戸大学と工学分野等で研究交流・学生交流を行いたいと発言がありました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241008-66116/> )

(6) 第4回先端バイオ工学研究センター成果発表会

～若手が創る次世代の先端バイオ工学～を開催

9月13日、第4回神戸大学先端バイオ工学研究センター成果発表会～先端バイオ工学の未来を拓く若手研究者の挑戦～（主催：神戸大学先端バイオ工学研究センター、共催：一般社団法人先端バイオ工学推進機構、一般社団法人バイオリジクス研究・トレーニングセンター）を開催しました。

発表会は蓮沼誠久先端バイオ工学研究センター長の開会挨拶の後、4件の口頭発表が行われ、若手研究者による最先端の研究状況が披露されるとともに活発な質疑応答が行われました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20240930-66083/> )

(7) 神戸大学×関西電力 SDGs 連続講座 2024 第1回講義を開催

神戸大学学術研究推進機構 SDGs 推進室では、プロジェクトパートナーである関西電力株式会社との共同企画として、「ゼロカーボン社会の実現にむけて—エネルギーの今と未来を考える」と題した全5回の連続講座を開始しました。2022年度には「企業SDGs講座」を開催してきましたが、シリーズ企画としての実施は今回が初の取り組みです。

現在、政府では中長期的なエネルギー政策の指針となるエネルギー基本計画の改定に向けた議論が進められていますが、本講座では、こうした動向を含めた日本を取りまくエネルギー情勢や2050年ゼロカーボン達成に向けた取り組みについて、講義と各種発電関連施設の現地見学を通して学ぶとともに、さまざまなエネルギーのもつ特性を理解し、ゼロカーボン社会の実現にむけた課題と未来社会のあり方をともに考えることを目的としています。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241011-66133/> )

(8) 令和6年度優秀若手研究者賞授賞式及び研究発表会を行いました

9月12日及び10月10日に令和6年度優秀若手研究者賞授賞式及び研究発表会を本部棟6F大会議室にて行いました。

「優秀若手研究者賞」は、神戸大学が卓越研究大学として世界最高水準の教育研究拠点になるための取組みの一環として、平成27年度に創設されたものです。卓越した業績を上げた若手研究者を表彰し、将来本学の研究リーダーとして活躍することを期待すると共に、研究者の育成及びその能力を最大限に発揮できるシステムを構築することを目的としています。



9/12(自然科学系・生命医学系・人文・人間科学系)左から：  
角田准教授、福重助教、藤澤学長、新川講師



10/10(自然科学系、生命医学系)左から：

服部准教授、堀家准教授、藤澤学長、岡田助教、清水特命助授

○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241011-66129/> )

#### (9) アリに学んで赤ちゃんに習う 神戸大学発ベンチャー

再現香料のセンツフェス株式会社を認定

神戸大学の尾崎まみこ名誉教授（センツフェス株式会社代表取締役社長）が、2023年12月19日に起業した「センツフェス株式会社」が、3月7日に神戸大学発ベンチャーに認定されました。種々な業種の企業や施設等とも協働して、匂いの社会的な価値創造を目指す会社です。“世界初の赤ちゃんの匂いの再現香料”の設計などをはじめとして、周産期の母子や、現代人のストレスからの解放といった社会的な課題解決に目を向けた取り組みを通して「匂い産業新時代」の一翼を担う会社として期待されます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241015-66144/> )

(10) 神戸大学大学院医学研究科メドテックイノベーションセンターの竣工式・開所記念式典を行いました

神戸大学大学院医学研究科は10月12日、メドテックイノベーションセンター（MIC：MedTech Innovation Center）の竣工式及び開所記念式典を同センターにて執り行いました。

メドテックイノベーションセンターは、内閣府の地方大学・地域産業創生交付金事業を活用し、神戸市と共に推進している神戸未来医療構想の下、ポートアイランド地区に位置する医学部附属病院国際がん医療・研究センターと直結する新たな医療機器開発拠点として整備されました。

竣工式はセンター1階正面玄関にて執り行われ、村上卓道大学院医学研究科長による式辞、半田真一大鉄工業株式会社代表取締役社長による挨拶の後、関係者によるテープカットが行われました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241017-66156/> )

(11) 「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）」に採択

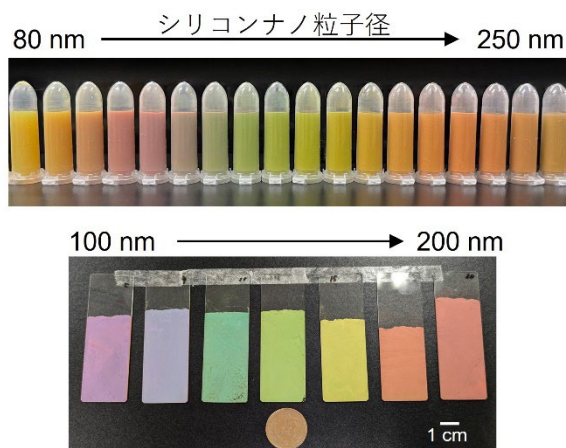
JST「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-Global）」は、大学等発の技術シーズを核にして、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルのあるディープテック・スタートアップの創出を目的とした事業です。この目的を達成するため、技術シーズの事業開発に責任を有する事業化推進機関および研究開発に責任を有する研究代表者が共同代表者となり、事業化推進機関のプロジェクトマネジメントの

下に事業化マイルストーンおよび研究開発マイルストーンを設定し、両者が一体的に課題を推進いたします。

【研究課題名・研究代表者】

研究課題：ナノ粒子を用いた新規構造色インク・塗料の開発及び事業化推進

所属・職・氏名：大学院工学研究科・准教授・杉本 泰



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241024-66178/> )

(12) 令和6年度学長表彰式を行いました

神戸大学は10月17日(木)、令和6年度学長表彰式を行いました。

学長表彰は、教育研究、事務運営、その他業務上の功績が極めて顕著であると認められる教職員と、外部資金に措置される間接経費の獲得を通じ本学の財務上の貢献が著しい研究者(財務貢献者)に対し、その功績を称えとともに、今後の一層の活躍を願って学長から行うもので、本年度の被表彰者は3グループと教員1名、財務貢献者は83名でした

学 長 表

彰



## 学長表彰（財務貢献者）



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241024-66175/> )

## （13）農学研究科附属食資源教育研究センターで令和6年度収穫祭を開催

10月25日に農学研究科附属食資源教育研究センター（加西市）で令和6年度収穫祭を開催しました。

収穫祭は、主として農作物の収穫に感謝し、翌年の豊作を祈念する祭りです。

来賓として、高橋晴彦加西市長、塩谷嘉宏兵庫県立農林水産技術総合センター所長らをお招きし、また、学内からは藤澤正人学長をはじめ木戸良明理事、森山睦理事らが出席して、総勢61名が収穫祭に参加しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241029-66191/> )

#### (14) 厦門理工学院（中国）から訪問

10月24日、中国の厦門理工学院より林进川（リン・ジン・セン）党書記が、玉置久理事・国際連携推進機構長を訪問しました。

懇談には、厦門理工学院より張宏怡（チョウ・コウ・イ）光通信工学院院长と、郭志欽（カク・シ・シン）映画テレビコミュニケーション学部党書記・研究員、姜春海（カン・シュン・カイ）大学院副研究科長、林宏偉（リン・コウ・イ）国際協力交流室室長、本学より村尾元国際文化科学研究科教授と厦門理工学院出身の博士課程の学生2名が同席しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

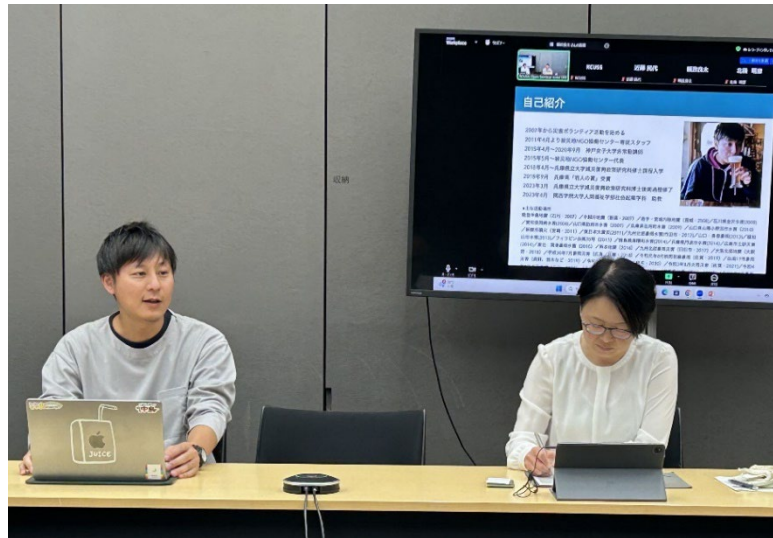
( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241029-66192/> )

#### (15) 都市安全研究センターのオープンゼミナール 震災30年特集

神戸大学都市安全研究センターは10月19日、阪神・淡路大震災30年をテーマとするオープンゼミナールの第2回をハイブリッド形式で開催しました。「災害ボランティアの30年とこれから」と題し、関西学院大学人間福祉学部社会起業学科の頼政良太助教が講演しました。

阪神・淡路大震災の被災地には過去にない多くのボランティアが駆けつけたことから、平成7（1995）年は「ボランティア元年」と呼ばれています。講演では災害ボランティアセンターの統治モデルの違いに着目して、そ

の違いが地域や被災者に与える正と負の影響が報告され、災害ボランティアの抱える課題と今後のあり方が提起されました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/20241029-66187/> )

### 【3】研究ニュース

#### (1) 自然訪問の頻度格差と関わる日常生活環境や自然体験

##### －年齢階層別の解析と都市環境整備への示唆－

神戸大学大学院人間発達環境学研究科の内山愉太助教、佐藤真行教授、丑丸敦史教授、源利文教授、清野未恵子准教授、原田和弘教授、琉球大学医学部保健学科の喜屋武亨准教授、高倉実教授（現在は名桜大学 特任教授）の研究グループは、緑地や水辺などの自然への訪問頻度に関する不平等について、年齢や収入、子どもの頃の自然体験などの社会経済的要素と環境要素を統合的に分析し、各年齢層において訪問頻度に影響を与えることが予想される要素を明らかにしました。

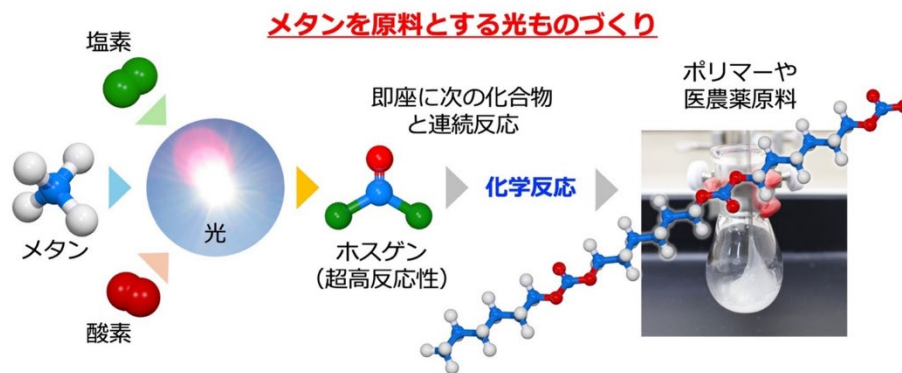
質の高い自然環境へのアクセスは基本的人権であるにもかかわらず、優先順位の低い問題として扱われているのが現状です。本研究では、居住地に加え、通勤先や買い物先など、日常生活におけるさまざまな環境が緑地・水辺への訪問頻度と正の相関があることが示され、その不足が訪問頻度格差の原因となる可能性を指摘しています。今後、本研究成果の知見に基づき、年齢階層の特性に応じた都市環境整備や環境教育への応用が期待されます。

○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241008-66104/> )

(2) 神戸大学・神戸市・光オンデマンドケミカル(株)による地域連携の成果  
バイオガスから医農薬原料やポリマーの合成に成功！

神戸大学大学院理学研究科の津田明彦准教授の研究グループは、同氏が本年4月に創業した光オンデマンドケミカル株式会社と協力して、下水、家畜の糞尿、食品廃棄物などから発生するバイオガスを使って、医農薬原料やポリマーの合成に成功しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241016-66152/> )

(3) 世界初！国産手術支援ロボット「hinotori」を用いた小児手術に成功

神戸大学医学部附属病院小児外科の大片祐一特命准教授らは、国産の手術支援ロボット「hinotori TM (ヒノトリ) サージカルロボットシステム (以下、hinotori)」を使用して、学童期の患者さんに対して安全にロボット支援下での副腎腫瘍摘出手術の実施に成功しました。近年、世界各国で様々な手術支援ロボットが開発される中、日本製ロボットの「hinotori」を用いて体格の小さい子どもに手術を行ったのは、今回が世界初です。今後、「hinotori」を用いたロボット支援手術が小児にも導入されることで、小児外科患者の治療の選択肢が広がります。



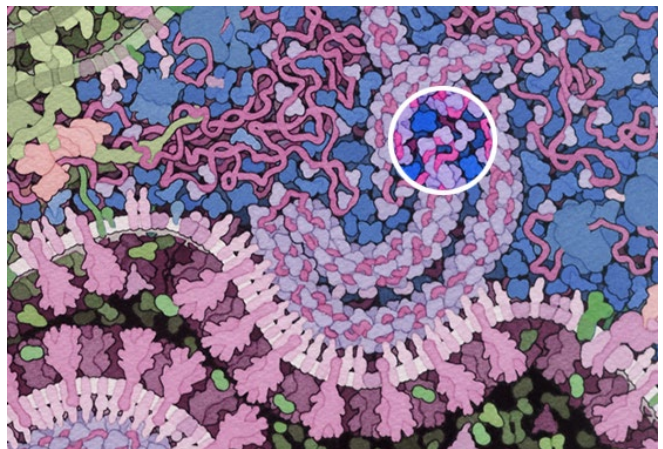
○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241017-66155/> )

#### (4) 新型コロナウイルス感染症の病原性発症機序を解明

ーウイルスプロテアーゼによる宿主抗ウイルス自然免疫応答からの回避機構ー

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の原因となるウイルス SARS-CoV-2 は、宿主の抗ウイルス自然免疫応答を回避することで感染を成立させ、重篤な呼吸器疾患等の病原性を発症することが知られています。しかしながら、宿主の抗ウイルス自然免疫応答による SARS-CoV-2 の排除機構、ならびにウイルスによる回避機構のメカニズムは不明でした。新潟大学大学院医歯学総合研究科ウイルス学分野の阿部隆之教授（研究当時、神戸大学大学院医学研究科 准教授）、神戸大学大学院医学研究科感染制御学分野の勝二郁夫教授の共同研究グループは、(1) 宿主の抗ウイルス自然免疫応答が、SARS-CoV-2 のヌクレオキャプシド蛋白質を標的としたウイルス排除に機能すること、(2) SARS-CoV-2 のパパイン様プロテアーゼ遺伝子が宿主の抗ウイルス自然免疫応答を阻害することを明らかにしました。この結果は、ウイルスプロテアーゼ遺伝子を標的とした抗ウイルス剤が、ウイルス複製を直接阻害するだけでなく、抗ウイルス自然免疫応答の回復に伴う相乗的なウイルス排除及び治療効果が期待できることを示唆します。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241022-66157/> )

#### (5) 医師主導治験により、「リツキサン®」が難治性のステロイド抵抗性ネフローゼ症候群に対する薬事承認を取得

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野の野津寛大教授、兵庫県立こども病院の飯島一誠病院長及び国立成育医療研究センター佐古まゆみ部門長らの研究グループは、神戸大学医学部附属病院臨床研究推進センターを治験調整事務局として、2019年4月1日より、小児期発症の「難治性ステ

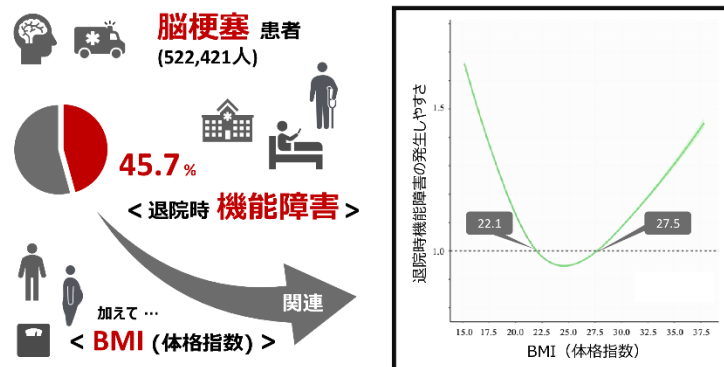
ロイド抵抗性ネフローゼ症候群」を対象としたリツキシマブとステロイドパルス療法の併用療法の多施設共同単群臨床試験（医師主導治験）を実施しました。この治験において、全薬工業株式会社が製造販売する「リツキサン®点滴静注 100 mg、同 500 mg」[一般名：リツキシマブ（遺伝子組換え）]の「難治性ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群」に対する有効性及び安全性が確認され、2024年9月24日付で厚生労働省から適応追加の承認を取得しました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

（ <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241023-66172/> ）

（6）脳梗塞患者において過体重～軽度肥満だと退院時の機能障害が発生しにくいことを明らかに

神戸大学大学院保健学研究科の金島侑司博士研究員と井澤和大准教授、科学技術イノベーション研究科の山下智也教授、医学研究科の平田健一名誉教授らの研究グループは、脳梗塞患者において、標準体型よりも過体重～軽度肥満の方が、退院時の機能障害の発生割合が低下することを明らかにしました。解析では、BMI（体格指数）が24.7kg/m<sup>2</sup>のときに、最も機能障害の発生割合が低くなることが示されました。また、体型が極端にやせ型、もしくは極端に肥満になるにつれて退院時の機能障害が発生しやすくなることも明らかになりました。今回の結果は、一般的には肥満が健康に悪影響を与えると考えられている一方で、特定の病気や状態では肥満が生存率を向上させるという逆説的な現象「肥満パラドックス」と同様の傾向を示しました。今後、退院後の機能障害の経過なども調査を重ね、理想的な体型が明らかとなることで体格維持の重要性が示唆され、脳梗塞発症後も健康寿命の延伸に繋がることが期待されます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241024-66173/> )

(7) 神戸大学と洋服の青山、スーツ着用時の動きやすさを数値化する共同研究により「肩くるしくないスーツ」が誕生

青山商事株式会社は、「洋服の青山」と「神戸大学」の産学共同研究により肩への着圧が1/5になることを実現したスーツを、10月10日（木）から全国の洋服の青山および、公式オンラインストアで発売開始しました。

季節が秋冬に移行するに伴い、ジャケットを要望する方が増え、「見た目はキチっとした スーツでありながらも楽に着用したい」という声があがっています。そこで、長年「洋服の青山」で培ってきたメンズテーラードの技術にレディスウェアの発想を取り入れることで、従来品よりも肩の可動域が広い着心地のよいスーツが完成しました。商品化にあたり、神戸大学人間発達環境学研究科衣環境学研究室の井上真理教授が産学共同研究に参加し、共同研究「特別縫製仕様によるスーツ着用時の衣服内圧の比較検証」によって動きやすさを数値化しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

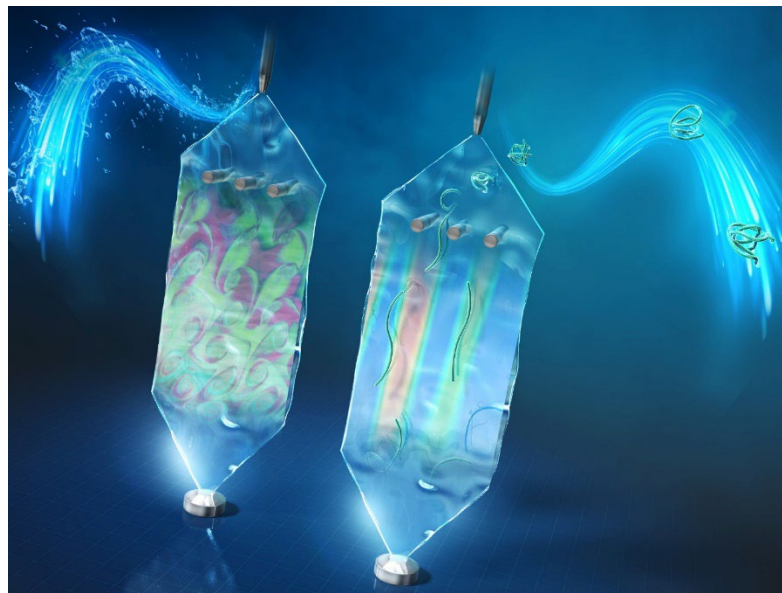
( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241025-66176/> )

(8) 流体が乱れる・乱れないの新たな境目を発見

名古屋大学大学院工学研究科の日出間るり教授の研究グループは、神戸大学（大学院工学研究科鈴木洋教授）、イギリスの The University of Liverpool との共同研究で、高分子を極めて低濃度で添加した流体の流動挙動が、安定化（層流化）、不安定化（乱流化）する現象について、その境界を新たに発見しました。

高分子を添加した流体において、レイノルズ数（ $Re$ ）の大きな条件下で流体の乱れが抑えられる抵抗低減（DR）という現象が観察されることは長年知られていたことでした。これに対して近年、乱流が生じる  $Re$  領域のうち、 $Re$  が比較的小さな条件では、高分子の添加が流体を完全に層流化させたり、高分子の弾性に由来する特殊な乱れを誘発し乱流化させたりする現象が見いだされました。しかし、これらの現象は流体の流速や高分子の濃度に比例しない、非線形性を伴うため定量化が難しく、高分子を添加した流体における層流と乱流の境目や、この変化が生じる条件は明らかになっていませんでした。

本研究は、高分子の伸長と緩和（直線状の高分子が伸びた後、元の形に戻る）という形態変化と、 $Re$  で決まる条件によって、流体の層流・乱流が決まることを明らかにしました。流動場の層流・乱流を制御することにより、流体輸送の省エネルギー化、効率的な攪拌技術の開発、高分子溶液の射出制御など、流体関連プロセスの技術革新への貢献が期待されます。



○詳細は、こちらをご覧ください。

（ <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241025-66011/> ）

#### 【4】フィーチャー

- （1）日本語教育の未来を見据えて—文部科学省事業の近畿ブロック拠点校として  
外国人住民の増加で日本語教育の重要性が高まるなか、神戸大学は 2024 年度から、文部科学省の「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」の近畿ブロック拠点校となりました。日本語教師の国家資格「登録日本語教員」が今年から制度化されるなど、教師養成を取り巻く状況も大きく変わりつつある

今、拠点校としてどのような役割を果たすのか。事業の責任者を務める神戸大学大学院国際文化学研究科の石川慎一郎教授に、具体的な取り組みや今後の展望を聞きました。

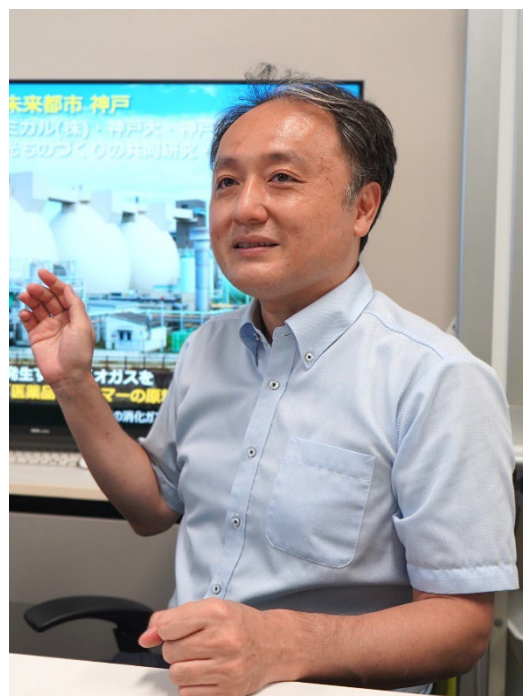


○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241007-66081/> )

## (2) 廃棄物から薬を生み出す「光ものづくり」

下水から発生するメタンを利用し、医薬品原料などの化学品を生産する実証実験を、神戸大学発スタートアップの光オンデマンドケミカル株式会社（代表取締役 CEO＝津田明彦・理学研究科准教授）が始めています。津田准教授の研究チームは、メタンと塩素などに光を当てて化学反応を起こし、有用な化学品を生み出す「光ものづくり」の手法を開発。2024 年 4 月に会社を設立し、9 月から神戸市の下水処理場で実証実験に着手しました。グリーントランスフォーメーション（GX）の推進につながる画期的な研究が実った背景、今後の展開などについて、神戸大学大学院理学研究科津田准教授に聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241016-66143/> )

### (3) ボランティアが示す「集の力」ー震災 30 年シリーズ①【社会教育学】

「ボランティア元年」といわれた阪神・淡路大震災から 30 年。被災地の復興・復興にボランティアがかかわることは、今や当たり前の光景となっています。一方、2024 年に発生した能登半島地震では、ボランティアの活動を行政が制限するような動きも見られるなど、さまざまな課題が指摘されています。被災地でボランティアが果たす役割とは何なのか。「コミュニティ・エンパワメント」をキーワードに研究、実践を続ける神戸大学大学院人間発達環境学研究科の松岡広路教授（社会教育学）に聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241022-66159/> )

### (4) 被災者の人権を守る災害法制をー震災 30 年シリーズ②【災害法制】

阪神・淡路大震災は、災害にかかわる法制度の問題点を浮き彫りにしました。戦後まもなく制定された法律では現代の大災害に対応できず、被災者から新たな支援制度を求める声が高まった。それから約 30 年。法制度は少しずつ改善されてきたものの、災害が起こるたびに問題点が指摘され続けています。弁護士として数々の被災地に足を運び、法制度の提言にもかかわってきた元兵庫県弁護士会会長、津久井進さん（神戸大学法学部卒業）に、災害法制の現状や今後の課題について聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241029-66113/> )

(5) 大震災、ＪＲ福知山線事故の医療から学んだことー震災 30 年シリーズ③

**【災害医療】**

神戸大学大学院医学研究科外科系講座の災害・救急医学分野教授で、医学部附属病院救命救急センター長の小谷穰治教授は、医療者として 1995 年 1 月の阪神・淡路大震災と、2005 年 4 月のＪＲ福知山線事故を経験しています。当時の状況や、そこから得た教訓について話を聞きました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/20241105-66177/> )

## 【5】イベント等情報

### (1) 第6回シンダイシンポ

神戸大と産・官・民の共創～卓越基礎研究と社会実装で地域と世界を先導～

神戸大学では大学が理想とする価値創造ストーリーや、本学の戦略をステークホルダーに伝えるため 2019 年度から財務情報と非財務情報を統合した統合報告書を作成しています。6 冊目となる今回は、「神戸大と産・官・民の共創～卓越基礎研究と社会実装で地域と世界を先導～」をテーマに据え、本学の価値創造プロセス、研究・教育・社会貢献、そして経営の現在の姿を、本学の特色ある取組や活躍する教職員・学生を取り上げることで、わかりやすく描き出すことを目指しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/event/20241130/> )

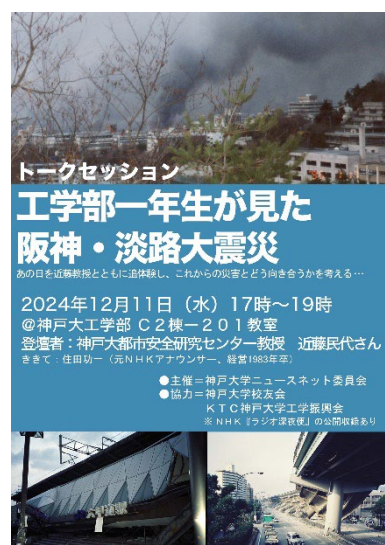
### (2) 震災30年 工学部一年生が見た阪神・淡路大震災

まもなく発生から30年になる阪神・淡路大震災。神戸大学ニュースネット委員会は、発災時に工学部建設学科1年生だった神戸大学都市安全研究センター教授の近藤民代さんを迎え、トークセッション「工学部一年生が見た阪神・淡路大震災」を行います。

主催＝神戸大学ニュースネット委員会

協力＝神戸大学校友会

K T C 神戸大学工学振興会



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.ku-alumni.kobe-u.ac.jp/news/2024/20241030-1.html> )

### (3) 震災30年 写真パネル展「あの日、壊れた街」

1995年1月17日に発生した、阪神・淡路大震災。私たちの知らない当時の六甲や深江周辺の被災した街を記録したパネル写真展「あの日、壊れた街 六甲道・深江・三宮…」を開催します。

主催＝神戸大学ニュースネット委員会

協力＝神戸大学校友会



○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.ku-alumni.kobe-u.ac.jp/news/2024/20241030-2.html> )

### (4) その他のイベント情報

○詳細は、こちらをご覧ください。

( <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/events/> )

## ★神戸大学がラジオ関西で情報発信 「神戸大学☆夢ラボ」

神戸大学が持つ「知」を広く情報発信し、各専門分野の研究者が研究のきっかけや研究成果の社会への影響などをリレー形式で伝えています。

放送は毎週日曜日の午前 8 時 45 分から 15 分間、進行役は神戸大学出身のラジオ関西パーソナリティー天宮 遥さんが務めています。

以下のサイトから、放送当初に遡ってご視聴いただけます。

<https://jocr.jp/programs/site/yumelabo/>

## ★「KU-Net」からのお知らせ

「神戸大学コミュニティネットワーク(KU-Net)」をリニューアルし公開しております。

従来からの、「OB・OG 訪問」の機能に加え、「卒業生からのメッセージ」や「在学生の今」の掲載をしております。また、卒業生等が開催するイベントへの参加申し込み機能も追加しました。

詳しくは、神戸大学コミュニティネットワークホームページ  
(<https://www.office.kobe-u.ac.jp/alumni-net/>)でお知らせしています。

また、KU-Net の説明動画を YouTube にアップしておりますので併せてご覧ください。

<https://youtu.be/ZqHCVW0VsuU>

是非ご登録ください。

## ★神戸大学校友会ホームページ

<https://www.ku-alumni.kobe-u.ac.jp/>

## ■支部所属の会員の皆様にもお知らせください

神戸大学校友会事務局

657-8501 神戸市灘区六甲台町 1 - 1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

TEL 078-803-5042 FAX 078-803-5024

E-mail: [plan-ku-alumni@office.kobe-u.ac.jp](mailto:plan-ku-alumni@office.kobe-u.ac.jp)